

東京愛育苑さゆり保育園

所在地：墨田区東向島6-7-8

電話：03-3611-1912

FAX：03-5809-8567

HP：http://aikuen-sayuri.com/

設置者：社会福祉法人東京愛育苑



認可年月日:昭和41(1966)年9月1日

保育定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
8	12	15	15	15	15	80

受入月齢

0歳4か月～就学前

開園時間

午前7:15～午後6:15
延長保育～午後7:15(1歳児から)

休園日

日曜祝祭日・年末年始



最寄り駅
東武スカイツリー線東向島駅より徒歩6分
京成押上線京成曳舟駅東改札口より徒歩7分

保育園は子どもの安心出来る居場所です。派手な行事よりも毎日の大切な歩みを大切にしています。



【保育の理念】

全ての価値基準を『子どもの最善の利益』とする
未来を生きていく力のある、健全な心身の根っこの育成

【保育の基本方針】

子どもは遊びを通して生きる為のあらゆる力を育みます。
その為、子どもの主体的な遊びを通して「こころとからだ
と知能」の三位一体の成長を促す保育を展開します。

【保育・教育の目標】

健康で明るく心豊かな子ども
自分で考え表現できる子ども
意欲を持って取り組む子ども



さゆり保育園の大切にしている取組み

★食育を保育の柱にしています

私たちの心と身体は、私たちが食べたもので出来ています。その為、厳選した安全な食材を使い、昆布やかťお節から出汁を取るなど手間を惜みず、自前の給食設備を用いて調理しています。お米は低農薬栽培のものを直接農家から買付けしています。日々のメニューは「和食中心・ときどき洋食・まごわやさしい」の乳幼児にふさわしい食事を提供しています。

★遊びを中心とした子ども主体の保育

毎日のクラスで盛り上がる色々な遊びこそ、子どもたちの意欲を歓喜し、社会性を育み、自信が自己肯定感につながります。当園では全園一斉の行事、大人の為の、大人が喜ぶ派手な行事は行いません。クラスの一瞬一瞬の毎日を大切に、ひとりひとりの育ちを宝物のように大切にしています。

★大人が先頭に立つ一斉指導は原則として行いません

当園を見学された方々から「この園は大人の声がかまいませんね」とよく言われます。当園では一斉指導は避けています。定員80名の程良い規模の中で、保育士ひとりひとりが園児ひとりひとりに語るように声掛けしています。子どもの想いを傾聴し、対等な立場でのダイアローグ=対話を通して、子どもの精神性を育てています。ひとりひとりを大切に保育の柱です。

★保育の可視化(見える化)

日々の保育や園児の様子を電子連絡帳システム(キッズリー)にて、保護者様のスマートフォンに届けています。給食の画像や保育のトピックス、園からの連絡等をタイムリーにお知らせすることで好評を得ています。お子様の体調の連絡等、保護者様との双方向コミュニケーションツールとしても活用しています。また今年度からクラスだよりを保育ドキュメンテーション形式にして、保護者の皆様にお知らせする取組みを始めました。

・・・まだまだ試行錯誤の途中ですが、信頼される保育園を目指して職員一同力を合わせて頑張っています。私たちは子どもたちが大好きです。ひとりひとりの人格と尊厳を守り、保育専門職として職業倫理を順守し、保護者の皆様と協働して、子どもたちの発達保障をして参ります。



ほめてあげれば、子どもは明るい子に育つ



愛してあげれば、子どもは人を愛することを覚える



認めてあげれば、子どもは自分を好きになる



見つけてあげれば、子どもは頑張り屋になる

さゆりでは、ひとりひとりを大切にしたい保育を職員一同実践していきま



さゆり保育園は地域の皆様から熱望されて出来た保育園です。当園は昭和初期に設立された東京愛育苑児童福祉施設の拡張移転に伴い、残された跡地に保育所を作って欲しいと言う地域の皆様の熱望に応じて設立された保育園です。昭和45年に建てられた園舎を耐震補強工事を行い大切に使用しています。区内初の0歳児保育の実施や、五十余年の歴史の中で900名を超える卒園生を社会に送り出しています。



【春】 菜の花団子と鯉節ふりかけご飯



【夏】 夏野菜ゴロゴロベジカレ



【秋】 ぶりの照り焼きと栗ご飯
会ランチ



【冬】 クリスマス



【SDGsに果たす当園の役割】

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」のことです。2015年の国連サミットで採択され、国連加盟の193ヶ国が2030年までに達成するため掲げられた目標です。誰一人取り残さない世界を目指し、17の目標が定められています。当園ではそのうち、図に示した第3と第4の目標を保育・幼児教育施設として特に意識し、日々の運営に活かしていきます。「3 すべての人に健康と福祉を」保育園は子どもにとって、心も身体も安全で安心できる居場所です。「4 質の高い教育をみんなに」幼児教育は将来のグローバルな社会を生き抜いて行くための非認知能力を高める大切な役割を担っています。